

亜鉛高ニッケル合金

通称：ハイニッケル合金ANT

シルバー/ブルー/ブラック



驚異の耐熱、耐食性

ニッケル共析率 15±3%

防食めっき界で最高峰の耐熱、耐食性を誇る亜鉛ニッケル合金めっきです。「亜鉛鉄合金めっき」や「ジンロイめっき」をはるかに凌ぐ耐食性で新境地のものづくりを支えるハイニッケル合金めっきです。この防食性を超えるめっきはありません。(2016年1月現在)

亜鉛高ニッケル合金 シルバー Silver

欧州の自動車業界では、エンジンルーム内の部品をシルバー色調に統一させるため、亜鉛高ニッケル合金・シルバーが人気の高いめっきとされています。ステンレス色調は、まさにステンレスの代替えとなりコストダウンも可能。当社のシルバーは、従来の亜鉛高ニッケル合金・ブルーにトルク調整剤を施す事で実現した色調です。

◆表記…Ep-Fe/Zn-HiNi5(ANT)-SV

※下地にはブルーのクロメート化成被膜があります。

※摩擦係数も低く安定しており次世代めっきの注目商品です。

※上記は5μ以上指定の場合です。

※当社のめっき浴は、アルカリ浴タイプ(ANT)なので、塩化浴タイプの約2倍の耐食性を発揮します。

耐食目安

めっき膜厚5μmのM8ナットの場合

中性塩水噴霧試験…2400時間時点で赤錆0%

※外観変化も殆ど無し。



亜鉛高ニッケル合金 ブルー Blue



高耐熱、高耐食性に優れる最新の合金めっきです。ニッケル共析率15%の絶妙なバランスで、ジオメットや低ニッケル合金めっきを遥かに凌ぐ耐食性を発揮します。防食めっき分野において亜鉛鉄合金めっきを超える最高スペックの高耐熱、高耐食性です。(2016年1月現在)

◆表記…Ep-Fe/Zn-HiNi5(ANT)-BU

※上記は5μ以上指定の場合です。

※当社のめっき浴は、アルカリ浴タイプ(ANT)なので、塩化浴タイプの約2倍の耐食性を発揮します。

耐食目安

めっき膜厚5μmのM8ナットの場合

中性塩水噴霧試験…2400時間時点で赤錆0%

※外観変化も殆ど無し。

亜鉛高ニッケル合金 ブラック Black

耐食性はブルー以上のめっきです。低ニッケル(ジンロイ)では成し得なかったクロメート皮膜だけで黒色を発揮。当社独自の技術が干渉色の少ない黒色を実現しました。防食めっき分野において亜鉛鉄合金(ストロングジンロイ)めっきを超える最高スペックの高耐熱、高耐食性を発揮します。(2016年1月現在)

◆表記…Ep-Fe/Zn-HiNi5(ANT)-BC

※上記は5μ以上指定の場合です。

※当社のめっき浴は、アルカリ浴タイプ(ANT)なので、塩化浴タイプの約2倍の耐食性を発揮します。

耐食目安

めっき膜厚5μmのM8ナットの場合

中性塩水噴霧試験…2400時間時点で赤錆0%

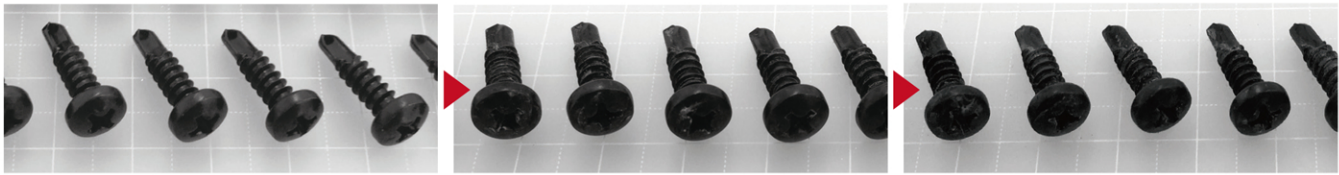
※外観変化も殆ど無し。



大分類	亜鉛高ニッケル合金（通称：ハイニッケル合金ANT）		
小分類	 シルバー ※ジンケート浴 	 ブルー ※ジンケート浴 	 ブラック ※ジンケート浴 
耐食性(白錆) ※対象…M8ナット	—		
耐食性(赤錆) ※対象…M8ナット ※仕様膜厚…5μ	中性塩水噴霧試験 2400時間まで0%を確認		
めっき皮膜の耐熱性	800℃前後で溶解またはクラック ※鉄素材種類による		
クロメート皮膜の耐熱性	200℃まで確認		
ニッケル共析率(%)	15±3		
総合摩擦係数(トルク)	0.15±0.05	0.37±0.05	0.4±0.05
電気抵抗(Ω/cm ²)	15～100μ		
ビッカース硬度	300～400		
水素脆性比率(%) ※対象…HRC52	調査中		
腐食電位(V) ※ポテンシオスタット測定	-0.85		
ELV指令	対応		
WEEE指令	対応		
RoHS指令	対応		

SST2400時間超えで赤錆0%

中性塩水噴霧試験(SST)では、めっき膜厚5μでも2400時間超えも赤錆0%です。複合試験(CCT)でも各自動車メーカー全てでクリアする耐食性能を誇ります。
※ブラックです



試験開始前

1000時間経過

2400時間超え